

目 次

研究の成果	新たに育成したスターチス・オリジナル品種「紀州ファインルビー」および「紀州ファインパール」の特性・・・・・・・・・・(古屋挙幸)・・・2
	シュッコンカスミソウのつぼみ切りにおける採花時の開花ステージが花持ちに及ぼす影響・・・・・・・・・・(宮前治加)・・・3
	スイートピー「ピュアクリーム」の最適種子冷蔵期間・・・・・・・・・・(小川大輔)・・・4



暖地園芸センターが育成したスターチスの新品种「紀州ファインルビー」(左)と「紀州ファインパール」(右)(本文2頁)

「オリジナル品種」「農業技術」という名の商品開発

暖地園芸センター所長 小椋一生

暖地園芸センターは、気象条件に恵まれた地域特性を活かし、収益性の高い農業づくりをめざして、優良オリジナル品種の育成や農業生産技術の開発等に取り組んでいます。

スターチスのオリジナル品種育成については、昨年は「紀州ファインイエロー」と「紀州ファインホワイト」の萎凋病抵抗性二品種を登録するとともに、新たに「紀州ファインルビー」「紀州ファインパール」の二品種を登録出願しました。また、スイートピーは、既に4品種を登録していますが、更に花色の充実を図るためにカラーリング可能な「ピュアクリーム」を出願し、品種登録されました。

技術開発については、実エンドウ・花き類の高温対策や省エネ・低コスト生産、スター

チスの超多収培養苗生産、切り花の品質保持等の技術開発に取り組んでいます。

開発したオリジナル品種や農業技術と言う名の商品は、生産者の方々に利用していただき、広く普及してはじめてその輝きを放つものです。職員一同、開発した商品に自信と誇りを持っており、積極的にPRや成果情報の発信を行うとともに関係機関と連携して普及推進して参りたいと思います。

今後とも、更に生産現場のニーズを十分に把握して試験研究に取り組み、常に現場との対話を重ねながらオリジナル品種の育成や農業技術開発を行い、生産者の皆様方に喜んで頂けるハイ・クォリティーな商品開発に果敢にチャレンジして参ります。